

令和元年 11 月 18 日

松阪市議会議長
大平 勇 様

日本共産党 栗谷建一郎

議員研修会参加報告

2019年11月6日、名古屋市で開催された議員研修会に参加してきましたので報告します。

日時	2019年11月6日午前9時半～午後3時
会場	ウインクあいち
研修会の名称	第48回市町村議会議員研修会
主催	自治体研究社
講師	可児 紀夫

(所感)

「持続可能な社会に向け、交通権を保障した地域交通政策を考える」

11月6日の市町村議員研修会「持続可能な社会に向け、交通権を保障した地域交通政策を考える」(講師 可児紀夫)に参加した。

このなかで交通とは、衣食住とともに人間が生きてゆくために必要な社会的基盤となるものであり、これをしっかりと確立整備していくことは極めて重要な課題であること。そういう意味で交通は人間社会を支える基本的人権であり、交通権ともいえること。この交通を支えることは憲法25条の第2項「国は、すべての生活部面について社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」任務であること。

今日の交通問題は歴史的にみると、自動車優先の政策が長年続けられてきた結果、便利になる一方で交通事故の増加、公共交通の衰退、中心市街地の衰退、高齢化社会の交通問題など問題が山積していること。

改めてだれでも安心して住み続けられる持続可能な地域社会をどう作っていくのかとい

う視点で都市政策を考え、その観点から地域公共交通を構築する必要があること。

住民とともに地域公共交通を発展させてきた岐阜市や木曽福島などの貴重な経験は極めて教訓的で学ぶことが多くあった。ここでは住民の要望に応えながら、地域をどのように発展させていくのかというビジョンを持ち、よく調査研究も行いながら公共交通を発展させている。

世界的にも車を規制し、公共交通を拡大して元気な楽しい人間優先の街づくりが始まっていることは教訓的であった。

交通基本法や道路運送法など関係法例の勉強をしなければならないとも思った。